

市長と語る会(布引地域住民自治協議会)

平成27年7月17日(金)午後7時30分～午後9時
布引地区市民センター

項目	市民の皆さんからいただいた主な意見等	その際の回答要旨
地域振興予算について	補助金関係について、同じ方程式で算出することによって公平、公正になるということであるが、人口比率に対するウエイトが大きすぎるので、人口が少ないところには厳しい。 行政の助成や育成がないと成り立っていかない地域もある。周辺地域に元気がないと中心地域も一緒にすたれてしまうと思う。周辺地域を育てていただけるような政策をお願いしたい。	上野市街地と郡部との共存関係、相互互助関係があり元気がでると思います。それぞれが持ち分を発揮するまちづくりが大事だと思います。 補助金は本当に頑張っているところに使っていただくことが基本だと思います。ただ単に、人口だけではありません。頑張っているところは、しっかりお応援しないといけないと思っています。
地方創生について	地方創生で地方の特徴に合わせて事業をしていかないといけない。プレミアム商品券など、安易な方法ではいけない。 どんなプログラムがあるのか、もっと地域で考える体制づくりを市が支援してほしい。	自分たちが何をしたいのか、個性を生かしていくことが必要です。ここでは何ができるか、みんなで考えてもらって、そのメニューに合えば、市がサポートするということになります。 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」中間案には、いろんな施策がありますが、新たに組み入れられる事業があれば、言っていたきたいと思っています。最終案は10月ぐらいになります。
インターネット等を利用したサービスについて	地域と都会の生活格差を埋めるためには、インターネットを使用することが一番の道具だと思う。 県では税金がインターネットで払える制度がある。確定申告も税務署へいかななくてもいい。市は、国、県に比べて、少し遅れているのではないか。	証明書の発行については、市でもコンビニ交付を始めました。 新庁舎建設に向け、電子決裁も視野に入れています。納付についてもマイナンバーを皮切りに、ご提案いただいている方向へ持っていきたいと思っています。
一時立ち寄り所について	台風の際の避難所が遠い。ライトピアまではとても行けない。行ける場所を探してほしい。	皆さんが入れる集会所は、皆さんでも探していただきたいと思っています。 中馬野にも防災倉庫ができていますので、物資については、運べるように職員も来させていただきます。 消防団とも協力して、市民センターを中心として、動けるように考えていきたいと思っています。
さるびの温泉について	さるびの温泉は、売却の方針だと聞いているが、市も一緒になって頑張るという気持ちになってくれないと困る。どう思っているのか。	公益性、公平性の観点から、民間でできるものは民間でしていただく、行政でできないものは行政がするという基本ルールを作っています。経営という観点では、民間で頑張っていただくほうがいいのではないかと考え方もあります。指定管理料が年々増えています。そのことを、市民に理解が得られるかが一番のポイントです。 福祉、雇用、地域活性化が担保されるのであれば、主体はどこであれ、経営形態は問題ないと思います。

支所の充実について	<p>中心市街地推進課があるのだから、周辺地域推進課があってもいいのではないかと考えている。</p> <p>支所に財源を配分していただきたい。支所に財源があればその中でできる。台風で水たまりができ、バラスを撒きたいといってもすぐに対応してくれない。権限とともに財源を配分してほしい。</p>	<p>支所を充実すると言っているのは、規模ではなくて、決められる力と財源を持たせることです。どんな権限を持たせ、財源をいくら配分するか考えているところです。</p>
健康推進について	<p>2025年問題は、5人に1人は介護が必要となると言われているが、福祉施設の充実だけでなく、健康維持を形にする施策を考えてほしい。</p>	<p>健康寿命は大事な話です。医療費の負担が減ると、予算を他のことにも使うことができますので、市の方針として重要であると認識しています。</p>
中心市街地の推進について	<p>中心市街地と市庁舎、芭蕉翁記念館、図書館はどういうつながりがあるのか。市民の一人として、どうなっているのか疑問に思っている。</p>	<p>市庁舎はみんなが一番行きやすい南へ移す方針としました。空いた南庁舎はリニューアルして、地域の活性化に使える新しい形の図書館にします。今の図書館は芭蕉翁記念館として整備をします。3点セットで整備をすることで、市民にとって一番負担の少ない、最大のメリットがものにするとしています。</p>
支所の役割について	<p>支所長は毎年代わっていくが、支所長によって考え方が違う。それでは、活性化しないし、結びつきができてこない。</p>	<p>今の支所長は1年で代わることはありません。支所長は地元の間を置いています。住民の人も意見を言いやすいし、地元のこともよく分かっています。行政は市民のためにあります。</p>
倒木の伐採について	<p>雑木が一人生えして、一人暮らしの老人では山へ行けないし、伐採もできない。交通障害になっている場合には木を切る人が必要である。</p> <p>森づくり会議をつくり、各字の区長が伐採したい場合には木を切れる体制を作してほしい。</p>	<p>財産権があり勝手に木を切ることができません。道路へ倒れてくるなど、明らかになってくるまでは何もできないのが現状です。ご理解をお願いします。</p>